

UIFA ニュース

第 13 号

平成 8 年 3 月

発行 宇治市国際親善協会

事務局：宇治市宇治琵琶 33 宇治市役所秘書課内

TEL 0774 - 22 - 3141 内線 2059



▲招待選手も参加して開かれた開会式で挨拶する池本市長（太陽が丘）

第13回 宇治川マラソン大会

友好都市から12名が参加

第13回宇治川マラソン大会が、二月二十五日、太陽が丘をスタート・ゴールにして開催され、5キロ、10キロ、ハーフマラソンの三コースに二千九百九十六人の選手が参加しました。

今大会には、宇治市体育協会設立30周年記念大会として、宇治市の友好都市であるスリランカ国ヌワエリヤ市、中国咸陽市、カナダ国カムループス市、そして体育協会がスポーツ交流をすすめている中国上海市、山口県宇部市の五都市から十九名の選手団が参加しました。

選手団は二月二十一日に来日。二十二日には市役所を表敬訪問して、池本市長らの歓迎を受けた後、早速コースの下見をして大会に備えていました。

また、十月にオープンする宇治市植物公園へヌワエリヤ市から仏教の三大霊樹のひとつとされるムユウジュなど十二種、二十三本、咸陽市からは同市の木であるサルスベリなど五種類、十六本が届けられました。

カムループス市からはすでに昨夏に届いており、三市からの友好の植木と観葉植物がそろいました。

ハーフマラソンで盧振華、董朝霞選手が優勝

上海市

マラソン大会は、二十五日、午前九時十分から開会式が行われ、池本市長のあいさつに続いて友好都市からの招待選手十二名が紹介され、記念品のブロンズ像が贈呈されました。

レースは午前十時三十分ハーフマラソン、同三十五分に5キロ、同四十五分に10キロがスタート。

ハーフマラソンに出場した上海市の盧振華選手（一般男子）と董朝霞選手（一般女子）が好記録で優勝したほか、各市の選手も上位に入るなど健闘しました。

レース後には、日本選手と練習方法などについて意見を交換するなどの交流もあり、意義のある大会となりました。

また今回は、三カ国語が飛び交う交流となりましたが、本協会の宇治国際交流クラブの皆さんの協力により、予定していました行事もスムーズに運びました。



▲市役所を表敬訪問した招待選手（2月22日）



▲歓迎会で紹介される選手団（2月23日）



▲ハーフマラソンで優勝した盧振華選手（上海市）

▼ゴールをめざして一斉にスタート（太陽が丘）



選手団は、二十六日には京都市内を観光。前日とは違った和やかな表情で古都の一日を楽しんでいました。そして二十七日に全選手団は宇治での楽しい思い出を持って帰国の途につきまし

招待選手成績表

国、都市名	氏 名 (年齢)	出場 種目	順位	タイム	国、都市名	氏 名 (年齢)	出場 種目	順位	タイム
スリランカ ヌワラエリヤ市	ミリッサ・G・ニマル 男 (24)	ハーフ	26位	1° 16' 46"	中国 上海市	廬 振 革 男 (23)	ハーフ	1 位	1° 08' 20"
	エリサ・C・スタウター 女 (20)	5 km	5 位	18' 33"		于 雲 輝 男 (23)	10km	2 位	30' 42"
中国 咸陽市	潘 勇 男 (17)	10km	23位	32' 26"		董 朝 霞 女 (21)	ハーフ	1 位	1° 15' 29"
	蘇 分 明 男 (27)	ハーフ	11位	1° 13' 23"		石 会 女 (17)	10km	3 位	36' 58"
カナダ カムループス市	マーク・ボンバー 男 (26)	10km	29位	32' 48"	山口県 宇部市	山 田 雄 二 (17)	10km	10位	31' 25"
	ブルノ・マゾッタ 男 (15)	10km	35位	33' 28"		三 井 浩 一 (17)	10km	15位	31' 49"



▲コンピューター授業を見学する代表団の皆さん
(11月28日、小倉小学校)



▲FM宇治に出演して宇治の印象を語る代表団の
皆さん (11月30日)

友好都市、中国咸陽市の代表団(団長、楊光明・咸陽市人民政府対外友好協会副会長)ら五名が十一月二十七日に来宇。市役所を表敬訪問して池本市長らと懇談、池本市長は「宇治の素顔をご覧いただき、市民との友好を深めてください」と、歓迎のあいさつを行いました。今回の代表団には、咸陽市教育委员会主任も

同行されており、二十八日には東宇治幼稚園、平盛小学校、南宇治中学校を訪問、園児や生徒の歓迎を受けました。また、小倉小学校では子供達のコンピューター授業の様子を見学しました。楊光明団長は「中国でもコンピューターは普及しつつあるが、日本では小学生からコンピューターを教えているのですね」と感想を述べられました。

咸陽市から代表団が来日 学校施設を訪問、交流を深める

11月27日～12月1日

語学講座

27人に修了証

平成七年度の語学講座は、昨年十月十八日から開講していましたが、二月二十八日に閉講式を行い、谷岡武雄宇治市国際親善協会会長から受講生一人ひとりに修了証が渡されました。

語学講座は、市民の国際性を育てる一環として平成五年度から開催しているもので、今回は中国語に八名、英語に十九名の市民が参加されました。

ロシアから研修に来日

日本の地方自治研修のため、来日しているロシア、中国からの研修生が二月十六日に来宇。



市役所の電算室や市民課等を視察し、コンピュータで処理される事務内容を研修しました。(写真は市民課で印鑑証明の発行状況を視察する研修生の皆さん、二月十六日)

講座は十六回行われ、中国語は郝偉さん、英語はAETのロス・ハンフリーさんが指導、日常会話を中心に学習が進められました。

言葉を通して国際理解を深めるため、受講生の皆さんの今後の活躍が期待されます。

国際ソロプチミスト宇治

国際交流に寄付

平成八年一月二十六日、国際ソロプチミスト宇治(平井晶子会長)から、国際交流の推進に役立ててほしいと宇治市に寄付をいただきました。

国際ソロプチミスト宇治からの寄付は九回目で、累計六百三十万円となっています。市では、国際交流基金に積み立て、国際交流の推進に活用させていただくことにしています。



▲国際ソロプチミスト宇治から寄付を受ける池本市長 (1月26日)

会費納入のお願い

平成七年度の会費を、まだ納入いただいていない方は納入していただきますようお願いいたします。

また、住所の変更などがありましたら事務局までご連絡ください。会費は次のとおりです。

- ▼個人会費 二千元
- ▼団体会費 五千元
- ▼法人会費 一万円

宇治市国際交流基金

ご協力ください

宇治市では、昭和六十二年三月、国際交流の推進と、青少年の海外研修派遣、外国人留学生への生活援助その他の国際交流事業に寄与することを目的に「宇治市国際交流基金条例」を設置。基金の目標額を一億円とし、その運用益で事業を展開することになっています。

これまで多くの団体、市民の皆さんからご協力をいただき、その総額は約三千四百万円となっていますが、目標額にはまだまだ遠い額です。宇治市の国際交流の推進と、本協会の活動を一層高めるため、本基金へのご協力をお願いします。